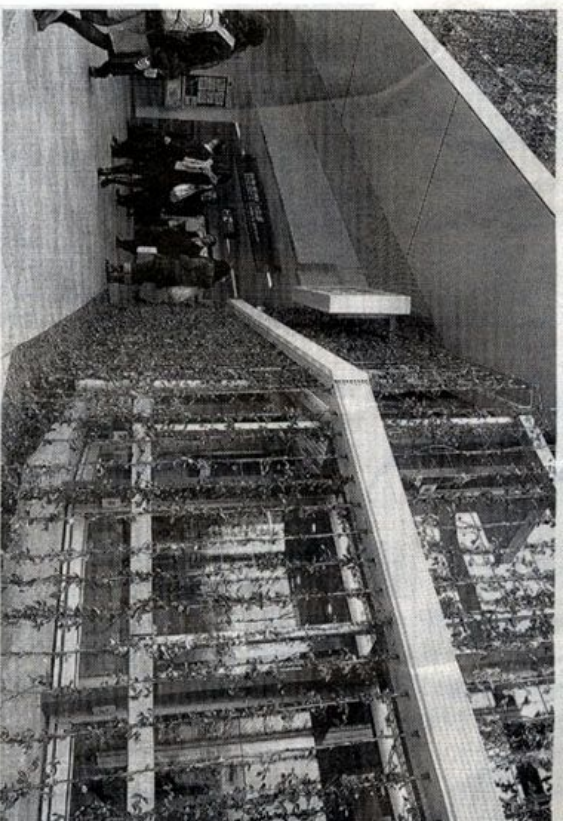


植物で直射日光を遮り建物の暑さ対策とする「壁面緑化」が広がりにつつある。省エネが期待でき、見た目も美しい。緑化ビル登場の動きや、家庭でもできる「緑のカーテン」、づくりをまとめた。

(卓間俊介)

美しく省エネ

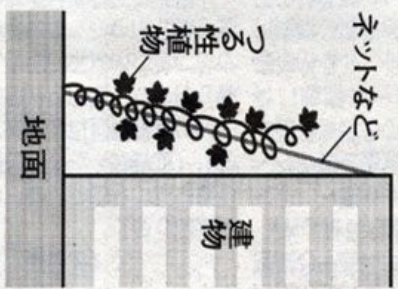
昨年十一月開業の「東急病院（東京都大田区）は五階建ての壁面の大部分が千五百三十平方メートル、ハプロモサミンなどのつる性植物で覆った。縦横に張り巡らせたワイヤに植物がからまる。「エコ効果に加え近隣住民の声を取り入れ景観も重視し緑化を決定した」（広報担当）。冬の今は葉に勢いはないものの、利用者が「環境や理由、東京都が二〇〇一年から千平方メートル以上の敷地への新築建一これに対し、壁面緑化は屋上緑化よりは簡便だ。地面やツツからネットなどを張り、



壁面緑化はコスト面でもメリットがある。都環境局計画調整課によると、既存ビルの屋上緑化の場合、養生でも一平方メートルあたり約一〇〇円かかる。壁面緑化はコスト面でもメリットがある。都環境局計画調整課によると、既存ビルの屋上緑化の場合、養生でも一平方メートルあたり約一〇〇円かかる。

広がる「壁面緑化」

ネット登はん式



ハチア、コーヤーで窓を覆った板橋区立保育所。同区は緑のカーテン事業を進めている。昨年9月撮影（東京都板橋区提供）

「屋上」より簡単 効果も上々

近隣壁面緑化のビルを都内で見たら二十以上の土壌が必要。どれだけの土壌が必要か、重量「カーテン」が「一番のお薦め」と話す。アサオ、キョウリなどもよい。また、西日が気になるところ、西側は冬でも枯れない。ネットからネットなどを張り、つる性植物のカーテンは各地で推奨されている。東京都板橋区のエコ活動を推進する「区立エコリースセンター」による「同区の緑のカーテンは学校から始まった。ハチア、コーヤーがカーテンができる。例えば「新宿都税事務所」の三、四階まで伸び、効果が実証された。商店街や企業、個人宅（七平方メートル）を昨年「ハチア」がカーテンを緑化したが、大型のカーテンが開催された。壁面（高さ約十五メートル）を緑化し、支柱、自動注水装置などで工事費は一平方メートルあたり約三万円。全体の年間管理費は約二十万円に抑えられ、①はエコファル回転しても二五度以下からなかつたが②と③の消費電力は①を1.0とすると②は87、③は68と節電効果が見られた。特に屋根と壁を緑化した③は大きな効果があった。壁面緑化はコスト面でもメリットがある。都環境局計画調整課によると、既存ビルの屋上緑化の場合、養生でも一平方メートルあたり約一〇〇円かかる。

夏に備え計画を

例で義務づけたためだ。これに地球温暖化への関心の高まりが拍車をかけた。屋上、壁面緑化の省エネ効果はある。都農林総合研究センタ（高約十五メートル）を緑化し、支柱、自動注水装置などで工事費は一平方メートルあたり約三万円。全体の年間管理費は約二十万円に抑えられ、①はエコファル回転しても二五度以下からなかつたが②と③の消費電力は①を1.0とすると②は87、③は68と節電効果が見られた。特に屋根と壁を緑化した③は大きな効果があった。壁面緑化はコスト面でもメリットがある。都環境局計画調整課によると、既存ビルの屋上緑化の場合、養生でも一平方メートルあたり約一〇〇円かかる。

「夏に間に合わせるには今のうちに計画を立て、遅くとも四月中に種まきが必要。ホームセンターなどで農薬用ネットが売られていて利用しやすい。ネットは安全のためにしっかりと取り付けておく必要がある。戸建てやマンションでは葉の大きさを調節し、冬は枯れないようにしておく必要がある。戸建てやマンションでは葉の大きさを調節し、冬は枯れないようにしておく必要がある。